

日本鐵鋼協會記事

◎理事會

大正十一年十月十八日(水曜日)午後五時より本會事務所に於て理事會を開き左の事項に就て協議せり。

- 一、工業品規格統一調査會照會の金屬材料擴張試驗片案の件

一、帝國新報購讀の件

(承認)

一、入退會者の件

(承認)

一、講演會に關する件

(承認)

一、其他會務に關する件

當日出席者は 倭國一君、香村小録君等なり。

◎編輯會

大正十一年十月十八日午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き、會誌第八年第十一號の原稿を選定せり、當日出席者は左の諸氏なり

室井嘉治馬君 櫻井 爭三君 川上 義弘君
杉村伊兵衛君 行方畝三郎君

◎講演會

大正十一年十一月八日(水曜日)午後六時半より本會事務所樓上に於て、工學士杉山求次君の「印度製鐵視察談」に就き

講演ありたり。(講演速記は明年一月「印度號」に掲載すべし)
當日來會者は倭國一君、今泉嘉一郎君、鹽田泰介君、香村小録君、河村驍君、種子田右八郎君、日向庄作君、服部漸君、萩尾傳君、松浦善助君、寒川恒貞君其他七十餘名ありて頗る盛會にて午後九時半閉會せり。

◎圖書寄送

大正十一年十月中、圖書寄送を受けたるもの左の如し。

- 一、東京鐵工機械業共同型錄

東京鐵工機械同業組合時事報社殿

- 一、獨英和、英獨和、製鐵用語字彙 (十部)

八幡製鐵所庶務課殿

- 一、大正十年海運概況

遞信省管船局長殿

- 一、地質調査所報告(第八十五號)

農商務省地質調査所殿

- 一、鑛物調査報告(第三十二號)

同上

- 一、工業原料用鑛物調査報告(第九、第十、第十二號)

同上

- 一、天鹽國小平藥川炭田地質圖

同上

- 一、銅產出圖

同上

- 一、吉岡地質圖

同上

- 一、庄原地質圖

同上

◎入退會者

前記理事會に於て入退會を承認せられたる會員左の如し。

入會者 (住所及職業)

市外中野町宮前三〇〇 正員 太田房夫
名古屋市南區熱田大同電氣製鋼所工學士 同 小林子之輔
廣島縣仁保村日本製鋼所 准員 古谷徳太郎
中外灘谷町下灘谷四三六、早稻田大學冶金科學生 同 野々村和吉

退會者 (住所及職業)

本郷區曙町十六 正員 木村林次郎
牛込區山吹町十六 同 山崎信吉
市外西大久保一一八、湯淺貿易會社員 同 野村梶太郎
麹町區内幸町一ノ三 同 中日實業株式會社

◎今泉博士の歸朝

本會理事衆議院議員工學博士今泉嘉一郎君は、本年八月二十五日より同三十日に涉り、奧地利國維納に於て開催せられたる萬國議會同盟會議に、我が帝國衆議院の代表者として出席せられたるが、去る十一月三日桑港より横濱入港の東洋汽船太洋丸にて無事歸朝せられたり。

今泉博士は奧洪國、獨逸、ルクセンブルグ、佛國、英國等を歴遊し米國を経て歸朝せられたるが、右會議用務の旁々前記諸國に於ける製鐵事情及び戰後の經濟事情等を視察せられたる由なり。

因に卷頭會告の通り來る十二月六日、本會に於て「戰後の歐洲製鐵事業視察談」に就きて御講演を願ふこととせり。

◎理事會

大正十一年十一月八日(水曜日)午後五時より本會事務所に於て理事會を開き、左の事項に就きて協議せり。

- 一、各官省に於ける需要鋼材取調の件(可決)
- 一、製鐵業用術語選定の件(可決)
- 一、入退會者に關する件(承認)
- 一、來月講演會開催の件(可決)
- 一、スタイル・ウント・アイゼンと會誌交換の件(承認)

二、其他會務に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

俵 國一君 今泉嘉一郎君 鹽田 泰介君
香村 小録君 河村 曉君

◎編輯會

大正十一年十一月十五日(水曜日)午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第八年第十二號の原稿を選定せり。

印度號の發行

次に明年一月號を「印度號」とし、過日本會に於て講演せられたる杉山隸次君の印度製鐵視察談を始め、其他専門家諸氏の之に關聯せる論文を掲載し、大冊子を發行せんことに就き協議せり。

尙右印度號は卷頭會告の通り若干増刷して會員以外の者にも實費(送料共金壹圓參拾錢)を以て配布せらるゝこととなれり。

當日出席者は左の諸氏なり。

俵 國一君 河村 曉君 行方畝三郎君
室井嘉治馬君 杉村伊兵衛君